



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月4日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2138 URL http://crooz.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二
 問合せ先責任者(役職名) 経営戦略管掌取締役 (氏名) 稲垣 佑介 (TEL) 03-5786-7080
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,799	52.8	775	381.7	788	374.0	541	522.3
28年3月期第1四半期	5,102	△7.0	160	△65.7	166	△65.2	86	△73.1

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 523百万円(476.3%) 28年3月期第1四半期 90百万円(△71.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第1四半期	45	15	42	43
28年3月期第1四半期	7	26	6	74

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	13,109	70.9	9,321	70.9		
28年3月期	12,289	72.9	8,978	72.9		

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 9,298百万円 28年3月期 8,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年3月期	—	0.00	—	15.00	—	15.00
29年3月期	—	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年3月期の期末配当金は未定であります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的な情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社(社名) - 除外 1社(社名) ウェーバー株式会社

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	12,841,600株	28年3月期	12,841,600株
29年3月期1Q	852,500株	28年3月期	852,500株
29年3月期1Q	11,989,100株	28年3月期1Q	11,974,867株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策を背景とした企業収益の回復や雇用・所得環境の改善が見られる一方で、為替の変動や中国をはじめとする海外経済の減速懸念等から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域であるEコマース市場は、平成28年度は15.2兆円、平成29年度は16.8兆円、平成30年度は18.6兆円と年平均成長率が10%以上で推移すると予想されており、今後も継続した拡大が見込まれています(注1)。加えて、もう一つの事業領域であるソーシャルゲームの国内市場は、平成26年は6,584億円、平成27年は7,462億円、平成28年は8,238億円と推移し(注2)、さらに世界市場では平成29年に1兆7,000億円規模に拡大することが予想されております(注3)。なお、前連結会計年度にファストファッション通販「SHOPLIST.com by CROOZ」(以下、SHOPLIST)を中心としたインターネットコマース事業の売上高が、ネイティブゲーム、ブラウザゲームを中心としたインターネットコンテンツ事業の売上高を上回り、インターネットコマース事業をもう一つの主力事業として位置付けております。

このような状況の中、インターネットコマース事業は、SHOPLISTが好調に推移しており、新規事業として平成24年7月にサービスを開始して4年目となる前連結会計年度の売上高は145億円を超え、当第1四半期においても45億円超と、前連結会計年度比約50%の成長を続けております。今後においても、継続的な大規模プロモーションや、注文から最短で24時間以内に商品をお届けすることなどの物流強化の推進、ポイント付与などによるリピート化など、引き続き事業規模拡大・サービス向上に注力してまいります。

インターネットコンテンツ事業につきましては、App Store、Google Play向けのネイティブゲームによる本格的な業績貢献が前連結会計年度より始まりました。平成27年1月に配信開始した「エレメンタルストーリー」を始め、同年4月には「NARUTO -ナルト- 忍コレクション 疾風乱舞」(注4)を、同年10月には「ファイナルファンタジーグランドマスターズ」(注5)を配信するなど、ポテンシャルの高いタイトルを複数本展開しており、今後もユーザー満足度を高める運営に注力してまいります。

また、SHOPLIST.comとゲーム事業で獲得した利益をもとに非ゲーム領域の新規事業に積極的に挑戦してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は7,799,200千円(前年同四半期比52.8%増)、営業利益は775,115千円(前年同四半期比381.7%増)、経常利益は788,998千円(前年同四半期比374.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は541,293千円(前年同四半期比522.3%増)となりました。

(注1) 株式会社野村総合研究所の調査を基に記載しております。

(注2) 株式会社CyberZおよび株式会社シード・プランニングの共同調査情報を基に記載しております。

(注3) International Data Corporationの調査を基に記載しております。

(注4) © 岸本斉史 スコット/集英社・テレビ東京・ぴえろ © GREE, Inc. / CROOZ, Inc.

Produced & Developed by GREE / CROOZ Co-Produced by 2015 BANDAI NAMCO Entertainment Inc.

(注5) © 2015, 2016 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved. Developed by CROOZ, Inc.

ファイナルファンタジー/ FINAL FANTASY 及びファイナルファンタジーグランドマスターズ/ FINAL FANTASY GRANDMASTERSは、日本およびその他の国におけるスクウェア・エニックス・グループの商標または登録商標です。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、前連結会計年度まで「インターネットソリューション事業」として記載しておりました報告セグメントにつきましては、重要性が乏しくなったことに伴い、報告セグメントに含めず「その他」の区分に含めて記載する方法に変更しております。前年同四半期の金額及び比率につきましては、前第1四半期連結累計期間を当第1四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分に組替えて算出しております。

①インターネットコンテンツ事業

売上高は3,249,136千円(前年同四半期比61.7%増)、セグメント利益は637,567千円(前年同四半期比259.6%増)となりました。

②インターネットコマース事業

売上高は4,523,640千円（前年同四半期比47.9%増）、セグメント利益は132,504千円（前年同四半期はセグメント損失13,321千円）となりました。

③その他

売上高は26,423千円（前年同四半期比24.8%減）、セグメント利益は5,043千円（前年同四半期はセグメント損失3,057千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の増加923,739千円があった一方で、ソフトウェアの減少134,507千円などにより、13,109,199千円（前連結会計年度末比819,756千円の増加）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、買掛金の増加704,442千円、未払金の増加177,757千円があった一方で、未払法人税等の減少477,816千円などにより、3,787,738千円（前連結会計年度末比476,995千円の増加）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、配当金の支払179,836千円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上541,293千円などにより、9,321,460千円（前連結会計年度末比342,760千円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、ソーシャルゲーム関連の新規性が高い事業を展開しており、当社新規タイトルの成長スピードを合理的に予測することが難しく、それに伴い広告宣伝費等の規模やその発生時期につきましても合理的に予測することが難しい状況となっております。

これらにより、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから、業績予想の開示を見合わせます。なお、期中の業績の進捗を踏まえ、算定が可能になり次第速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、ウェーバー株式会社は、平成28年4月1日を効力発生日として当社が同社を吸収合併したことにより、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,377,684	8,301,423
売掛金	2,678,673	2,696,099
繰延税金資産	88,522	38,451
その他	156,222	101,731
流動資産合計	10,301,103	11,137,705
固定資産		
有形固定資産	215,610	219,050
無形固定資産		
ソフトウェア	955,601	821,093
その他	2,338	66,375
無形固定資産合計	957,939	887,469
投資その他の資産		
投資その他の資産	891,198	945,383
貸倒引当金	△76,409	△80,409
投資その他の資産合計	814,789	864,973
固定資産合計	1,988,339	1,971,493
資産合計	12,289,443	13,109,199
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,693,412	2,397,854
未払金	584,018	761,776
短期借入金	—	30,000
1年内返済予定の長期借入金	—	6,000
未払法人税等	681,797	203,981
賞与引当金	19,868	—
ポイント引当金	80,498	78,968
その他	251,148	295,408
流動負債合計	3,310,743	3,773,988
固定負債		
長期借入金	—	13,750
固定負債合計	—	13,750
負債合計	3,310,743	3,787,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	432,964	432,964
資本剰余金	1,278,407	1,278,407
利益剰余金	7,724,154	8,085,610
自己株式	△507,320	△507,320
株主資本合計	8,928,205	9,289,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,634	7,018
為替換算調整勘定	4,666	2,087
その他の包括利益累計額合計	27,301	9,105
新株予約権	23,192	22,692
純資産合計	8,978,700	9,321,460
負債純資産合計	12,289,443	13,109,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	5,102,925	7,799,200
売上原価	3,506,650	5,343,070
売上総利益	1,596,274	2,456,129
販売費及び一般管理費	1,435,360	1,681,013
営業利益	160,913	775,115
営業外収益		
持分法による投資利益	8,244	11,791
投資事業組合運用益	—	7,649
その他	640	687
営業外収益合計	8,884	20,129
営業外費用		
投資事業組合運用損	3,044	—
為替差損	—	1,471
貸倒引当金繰入額	—	4,000
その他	291	775
営業外費用合計	3,335	6,246
経常利益	166,462	788,998
特別利益		
新株予約権戻入益	—	500
固定資産売却益	289	—
特別利益合計	289	500
特別損失		
固定資産除却損	635	107
倉庫移転費用	4,562	—
減損損失	8,892	—
関係会社株式評価損	—	9,000
特別損失合計	14,089	9,107
税金等調整前四半期純利益	152,663	780,390
法人税、住民税及び事業税	51,979	185,852
法人税等調整額	13,705	53,244
法人税等合計	65,684	239,097
四半期純利益	86,978	541,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	86,978	541,293

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	86,978	541,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,351	△15,616
為替換算調整勘定	445	△2,579
その他の包括利益合計	3,796	△18,195
四半期包括利益	90,775	523,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,775	523,097

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。